



一生懸命はかっこいい

4日間という長い夏休み、子どもたちは海水浴やプールに行ったり、花火をしたりと楽しい思い出ができたようでした。子どもたちが、いろいろな場面で「KKJ」(気づき・考え・実行した)結果、大きな事故、入院するような大きなケガ等がなく2学期の始業式を迎えることができ、とてもうれしく思います。

今年の夏には東京オリンピックが行われ、日本選手は史上最多の58個(金27、銀14、銅17)のメダルを獲得しました。今はパラリンピックも行われていて、9月2日時点で27個(金6、銀9、銅12)のメダルを獲得しています。龍ヶ岳町の樋島出身の藤田選手が車椅子フェンシングに出場をしました。

オリンピックやパラリンピックをテレビで見られた方も多いと思います。見ていると選手のプレイに引き込まれ、いつのまにか「がんばれ」と応援をしています。なぜ、人は応援をするのでしょうか？ 私は、一生懸命はかっこいいからだと思います。選手一人一人が、目標をもち、努力し、必死に走ったり、ボールを追いかけたりと、がんばっている姿を見て感動するからだと思います。

2学期は、文化展、持久走大会など、一人一人が主役となる行事があります。また、11月26日(金)には上天草市教育委員会指定の研究発表会、そして12月には、3年生以上は熊本県学力・学習状況調査も行われます。このように、学習・運動・文化面の活動がたくさんあります。「一生懸命はかっこいい」です。目標をもって、一人一人が主役になれるように、2学期も「KKJ」(気づき・考え・実行する)を合い言葉にがんばってほしいと思います。



がんばれ！！ 藤田道宣選手

東京パラリンピックの車椅子フェンシングに藤田道宣選手(樋島小学校卒業)が出場されました。

新聞やケーブルテレビでも紹介されましたが、龍ヶ岳小学校からも8月6日(金)に応援メッセージを届けました。先輩のがんばり・活躍に子どもたちも、夢に向かって努力することの大切さを学ぶ機会となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の徹底を！！

新型コロナウイルス感染症の感染者が増え、全国でも1日に2万人を越えています。上天草市でも、大人の人だけでなく、中学生、小学生、園児にも感染が広がっています。感染対策を徹底していても、これから学校や家庭で感染者が出るかもしれません。そこで、始業式に子どもたちに3つのお願いをしました。

- ①「誰がかかったのですか」と、先生や友だちなど人に聞かない。
- ②「〇〇さんがかかったそうだよ」という、話をしない。
- ③新型コロナウイルスによる差別をしない。

2学期も学校のホームページは毎日更新しています。ご覧ください。